

世界遺産

高野参詣道 町石道 登山

ちよういしみち



行程 (受付) 九度山町役場 ----- (スタート) 慈尊院・九度山町 -----
約 20 km・7 時間 (ゴール) 矢立 ----- 壇上伽藍・高野山
標高差 700m

とき

2026年5月24日(日)

※かなり体力を要する健脚者向け

参加費 1,000 円

当日

受付 7:30 ~ 9:00
場所 九度山町役場

和歌山県伊都郡九度山町九度山 1190
南海九度山駅から徒歩 5 分
※ 小雨決行・荒天中止

九度山町役場の駐車場は利用できません。公共交通機関をご利用ください

申込
はこちら



主催 世界遺産高野参詣道(町石道)登山実行委員会 問合せ 和歌山県伊都郡振興局地域づくり部
後援 和歌山県 / 高野山真言宗総本山金剛峯寺 TEL 0736-33-4900
協力 株式会社モンペル FAX 0736-33-4916

<https://logoform.jp/form/WEVN/1391078>



壇上伽藍

弘法大師空海が高野山を開創した際、最初に造営に取り組んだ場所であり、奥之院とともに高野山の二大聖地の一つです。

袈裟掛石

弘法大師空海が袈裟を掛けたと言われています。この石の下をくぐれば長生きするとも言われています。

大門

険しい町石道を登りきった者を讃えるかのような勇壮な姿です。

白蛇の岩と鳥居

鳥居の奥にある大きな岩（白蛇の岩）に白い大蛇が住み着いており、岩の上の木に巻き付いて参詣する人を待ち構えていたという伝説があります。この岩にお参りをし、白蛇の姿を見ると幸せになると言い伝えられています。

丹生都比売神社

弘法大師空海が高野山を授けた女神を祀る、高野山の総鎮守です。町石道の二ツ鳥居は、この神社の鳥居です。神使の白と黒の二神犬が、弘法大師空海を高野山へ導いたと伝わります。

慈尊院

町石道のはじまりです。丹生官省符神社への階段の途中に一つ目の町石があります。ここから町石を辿りながら壇上伽藍（ゴール）を目指して登っていきます。また、慈尊院は、弘法大師空海の母君が晩年移り住み、弘法大師空海が自ら逢いに訪れたと言われています。

注意事項

13時から矢立～壇上伽藍（ゴール）まで無料のシャトルバスを運行します。「矢立」通過は最終14時までとさせていただきます。14時以降「矢立」を通過される場合はシャトルバスをご利用ください。

町石道（ちょういしみち）

聖地高野山への表参道である町石道は、弘法大師空海が高野山を開創して以来、信仰の道とされてきました。その道しるべとして建てられたのが町石で、高さ三メートルを超す五輪塔形の石柱が、根本大塔を起点として慈尊院まで一八〇基、奥之院弘法大師御廟まで三十六基建てられています。（二町Ⅱ約一〇九メートル）その八割以上が鎌倉時代に建立されたもので、今なお昔の面影を残しています。